

事業概要 (2015年3月31日現在)

所在地	〒181-8577 東京都三鷹市大沢3-9-6
土地面積	158,147m ²
建物面積	67,329m ²
従業員数	1,434人
主な生産品目	自動車用エンジン、トランスミッション の研究開発、実験

東京事業所



トップメッセージ



常務執行役員
東京事業所長
前田 聡

東京事業所は、スバル車のパワーユニット(エンジン・トランスミッション)開発を担うサイトとして、「安心と楽しさ」の追求と環境にやさしいクルマづくりを目指し、走行性能と環境安全性能を高い次元で両立させるためにたゆまぬ努力を続けています。

これからも、クルマの環境安全性能を左右する重要なポジションにあることを自覚するとともに、周辺地域や社会との共生の重要性を再認識しながら、環境に配慮した開発や事業活動に心掛け、燃費や排気ガスの性能向上、クリーンエネルギー自動車の開発などを通し「クリーンなパワーユニット」を提供することでお客様の期待にお応えし社会に貢献していきます。

地域社会とのかかわり

地域社会とのコミュニケーション

東京事業所では、住宅地に隣接する“都市型事業所”として、周辺地域の皆さまとのお付き合いを大切にしています。共に豊かな社会を創造するために、安全防災体制の整備や、地域行事・クリーン活動などに継続し取り組んでいます。



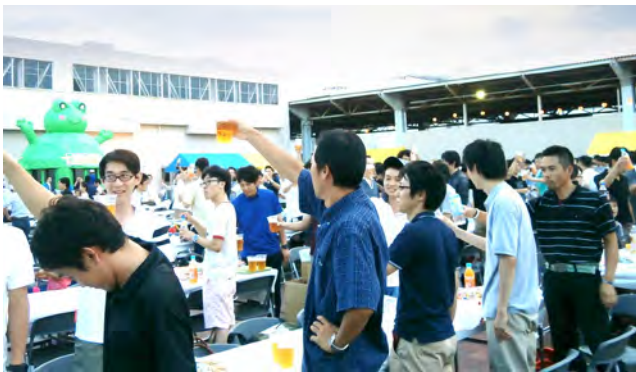
2014年6月27日 自衛消防訓練審査会へ参加

自衛消防訓練審査会は、2014年も当事業所敷地内で開催されました。当社では毎年参加することで訓練経験者を養成し、万が一の災害発生に迅速な対応を目指しています。



2014年6月16日 三鷹消防署「危険物施設消防訓練」を所内開催

所内給油スタンドで、給油中の車両事故により燃料が漏れ火災が発生と想定した消防訓練を実施しました。当社自衛消防隊による通報・救護・消火活動と本番さながらの訓練で、所内に多数ある危険物施設の火災に備えます。



2014年8月1日 事業所納涼祭の開催

2014年も隣接する国際基督教大学サンバサークルによるパレードを皮切りに、恒例の大抽選会や当社フェイスブックを活用したミニカープレゼントなど新企画でお子様連れのお客様に好評を得るなど、約2千人の参加で地域の皆さまとの交流も図れました。



2014年5月17日 二輪車安全運転教室の開催

2014年も三鷹警察署ご協力のもと、二輪車安全運転教室を開催しました。社外からの参加も含め37人の受講者は白バイ隊員や指導員の指導を受け、急制動や低速スラロームなど運転技術の向上に熱心に取り組みました。



2015年1月11日 当社硬式野球部による少年野球教室の開催

毎年恒例のイベントとして、今年も武蔵野市営軟式野球場で当社硬式野球部による野球教室を開催しました。今回も約200人の少年少女が参加し、現役選手の熱心な指導に明るく元気に応えていました。



2014年9月30日・2015年2月27日 所内献血の実施

東京事業所内にて定期的に行っている東京都赤十字血液センターによる献血を継続実施しました。今回も多くの方に会場にお越しいただき、参加ご協力いただきました。

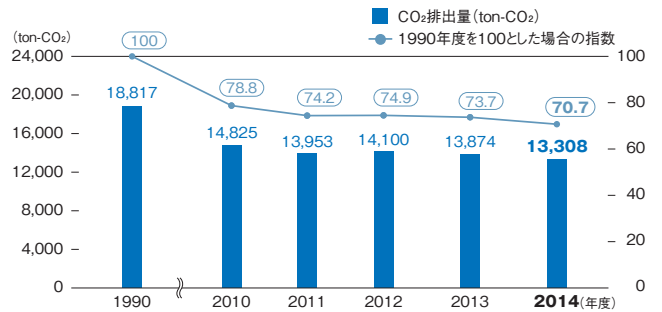
環境保全の取り組み

私たちは、自動車をはじめとする輸送機器メーカーとして、「地球環境問題への対応は経営における重要課題」と認識し、環境保全の取り組みを進めていきます。

地球温暖化防止への取り組み

2014年度のCO₂排出量は13,308ton-CO₂でした。
今後も省エネルギー活動に取り組み、地球温暖化防止に貢献していきます。

CO₂排出量推移



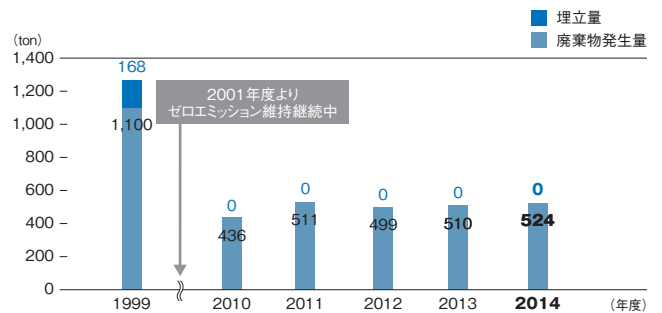
ゼロエミッションへの取り組み

2014年度の廃棄物排出量は524トンでした。埋立量は0トンで、ゼロエミッションを継続しています。

今後も、リサイクルの向上と廃棄物排出量の削減に取り組んでいきます。

※当社のゼロ・エミッションの定義
埋立物(直接埋め立てされるもの+中間処理後に埋め立てされるもの)の総量が金属くずを除く廃棄物(産業廃棄物+特別管理産業廃棄物+事業系一般廃棄物)総量の0.5%未満であること。

廃棄物発生総量と埋立処分の推移



新事務所本館の屋上に設置している太陽光発電

公害防止への取り組み

地域社会との共生や緑豊かな自然環境を維持していくため、排出ガスや排水の管理、環境リスク低減などに取り組み、環境事故や公害の発生を防止するための活動を推進しています。今後も、基準値超過を含めてゼロを目標に取り組んでいきます。

2014年度の環境関連測定データ

水質等の法令基準に20%上乗せした自主基準を設定し、管理しています。

■ 水質測定結果

測定結果は、すべて水質汚濁防止法および三鷹市下水道条例に適合しました。

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
水素イオン濃度(pH)	5.7~8.7	5.9~8.4	8.4	7.4	8.2
生物化学的酸素要求量(BOD)	300	240	240	15	110
浮遊物質(SS)	300	240	170	26	92
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)	5	4	4未満	4未満	4未満
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油類含有量)	30	24	20	4未満	7
全りん	16	12.8	7.9	3.2	4.5
全窒素	120	96	65	16	39
溶解性マンガ	10	8	0.02	0.01	0.02
シアン	1	0.8	0.01未満	0.01未満	0.01未満

排水は公共用下水道排出

■ PRTR (化学物質排出移動量届出制度) 対象化学物質の取扱量、排出量など

【単位：kg/年】

化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
エチルベンゼン	15,960	0.19	0	0	15,960	0	0
エチレングリコール	1,820	0.00	0	0	1,820	0	0
キシレン	67,515	0.75	0	0	67,514	0	0
1,3,5-トリメチルベンゼン	12,714	0.03	0	0	12,714	0	0
トルエン	204,615	8.14	0	0	204,607	0	0
1,2,4-トリメチルベンゼン	43,892	0.18	0	0	43,892	0	0
ベンゼン	6,830	0.89	0	0	6,829	0	0
n-ヘキサン	26,055	5.54	0	0	26,049	0	0
合計	379,401	16	0	0	379,385	0	0
		16					

沿革

1941年 5月	中島飛行機 三鷹研究所設立
1955年 4月	富士重工業(株)三鷹製作所となる
1958年 2月	スバル360用空冷エンジン生産開始
1975年 8月	レオーネ用エンジン(SEEC-T)生産開始
1982年 2月	製造部門の群馬地区移転がスタート
1989年 2月	東京事業所に名称変更
1996年10月	スバル開発本部ISO9001認証取得
1999年 3月	事業所内でのエンジン・トランスミッションの生産を終了(研究開発に集中)
2004年 1月	東京事業所サイトとしてISO14001認証を取得
2010年 1月	富士重工業としてISO14001統合認証を取得

▶ お問い合わせ先

東京事業所 総務部
TEL 0422-33-7010 FAX 0422-33-7777